



About Gallery

biscuit gallery は、2021 年 1 月に新たな可能性を求めて設立された現代アートギャラリーです。コロナ禍という困難な時期に誕生した私たちは、変革と創造の精神を持ち合わせており、新しいアートの形を模索し続けています。オンラインとオフラインの境界を超え、日本国内外の才能あるアーティストたちの作品をグローバルに紹介することで、アートが人々の生活に新しい価値と喜びをもたらすことを信じています。

東京・渋谷の中心地に位置するギャラリーは、新進気鋭の現代アート作家が活躍できる場所を提供し、一般の人々が気軽にアートに触れられる空間を作ることを目指しています。パンデミックを経ても変わらず、私たちはアートを通じて世界と繋がり、文化の多様性と創造性を広めることに尽力しています。

biscuit gallery は、これからもアートシーンに新しい風を吹き込み続けます。



大澤 巴瑠

Hal Osawa

[Click ▶▶ instagram](#)

Profile

1997 東京都生まれ

2020 多摩美術大学美術学部油画科卒業

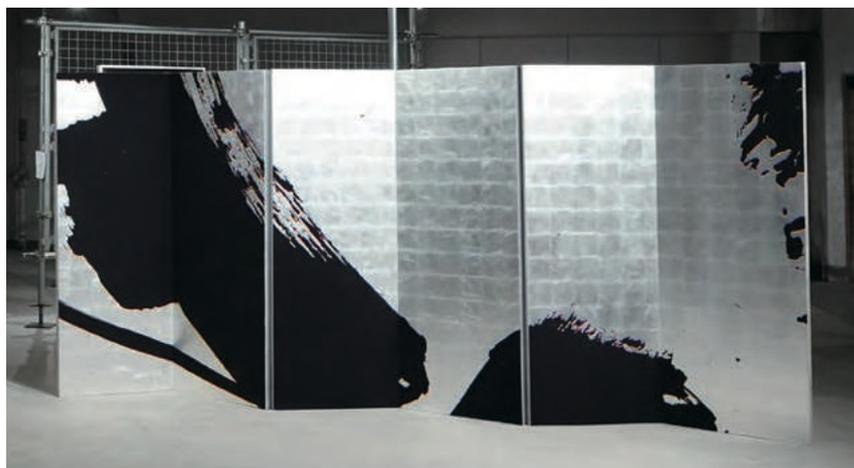
2022 京都芸術大学大学院芸術研究科美術工芸領域油画科修了

Concept

大澤巴瑠はデジタルの複製をアナログで複製することにより、価値の曖昧さを作品に仮託し、可視化した作品を制作しています。主なシリーズに、『onomatopoeia』と『消失と誘発』。

Gallery comments

銀箔とアクリル絵具という「ジャンル違い」なメディウムを組み合わせ、モダンな作風を実現しています。とてもコンセプチュアルで、「複製」という現代的テーマを取り扱いながら、美術の領域を超えて問いを発しています。ビジュアルだけでもインパクトあり、且つしっとりとしているので、シャープな空間にぴったりです。





1
大澤巴瑠/Hal Osawa
onomatopoeia
2024
1343 × 950 × 50 mm
423,500円(税込)



八田 亜美

Ami Hatta

[Click ▶▶ instagram](#)

Profile

2000 千葉県出身

2024 東京造形大学造形学部美術学科絵画専攻卒業

Concept

抵抗と瞬間の乗り越え、ブレイキと陶酔を中心に、

自己が経験する以上の潜在的な感情が反応として表出するの世界を描いています。

制作のプロセスでは絵の具の滲みが不定形のまま定着する瞬間を発生、選択、分解のサイクルとして捉え、キャンバス上の顔料の集合と拡散のプロセスに結びつけています。

Gallery comments

優しい色を使いながら強く目に焼きつく、不思議な色使いをする抽象作家です。

どう重ねるかというよりも、どこで引くか、留めるか。絶妙なバランスがとても魅力的です。

小作品でも1点壁にかかっているだけで、パッとその場が明るくゴージャスになる、宝石のような作品ばかりです。





2
八田亜美/Ami Hatta
ブレーキ(Tears for brakes)
2024
333 × 242 mm
41,800円(税込)



3

八田亜美/Ami Hatta

抱えるコバルトブルーの二の腕

2024

410 × 318 × 20 mm

66,000円(税込)



吉積 彩乃

Ayano Yoshizumi

[Click ▶▶ instagram](#)

Profile

1991 愛知県出身

2014 武蔵野美術大学工芸工業デザイン学科ガラス専攻 卒業

2016 富山ガラス造形研究所造形科 卒業

Concept

日本人ガラス作家である吉積彩乃は、ガラスを表現の素材として扱うことに強い興味を持っています。色と空間の関係性を絶対的な道具として、アートとクラフトの境界を行き来する三次元のキャンバスとして作品を制作しています。このコンセプチュアルワークは、彼女の感情的な色の使い方や融けたガラスの偶然性を取り入れたアプローチなど、フォービズムとミニマリズムに強い影響を受けています。

吹きガラスの内側と外側の空間の関係性は日本の文化である“間”の美意識を持って、空間は構成され、作品に深みと奥行きが与えられています。

Gallery comments

吉積作品の特徴は、一度みると目に焼き付く強くポップな色、ユニークな形、また材質の組み合わせ方にあります。

女性的な丸みを帯び、部分的にざらざらした質感や突起物がついていたり、また大胆に模様が描かれるなど、レトロポップな空気感がたまりません。

空間にひとつあるだけで華やぐ明るさを持ちます。





4

吉積彩乃/Ayano Yoshizumi

LAMP Olive and Fuchsia Light

2024

210 × 210 × 350 mm

352,000円(税込)

写真左



5

吉積彩乃/Ayano Yoshizumi

LAMP Smoke Blue and Olive Brown

2024

210 × 210 × 350 mm

352,000円(税込)

写真右



6
吉積彩乃/Ayano Yoshizumi
ICON #2304 No.1
2023
330 × 190 × 130 mm
418,000円(税込)



7
吉積彩乃/Ayano Yoshizumi
ICON #2304 No.2
2023
420 × 260 × 110 mm
484,000円(税込)



西浦 裕太

Yuta Nishiura

[Click ▶▶ instagram](#)

Profile

1974 神奈川県出身

1997 バガモヨ芸術大学 スカルプチャープロジェクト 修学, タンザニア

2000 東洋美術学校 中国水墨画科 卒業

2005 ハンブルグ芸術大学 (HFBK) 専修課程 中退, ドイツ

Concept

例えば白い紙に描かれた黒い点は、同時にその周りの白い世界をつくります。

空虚な世界に自由と永遠、そして物語が生まれます。

私は彫刻という黒い点をつくることによって、

同時に風景という白い世界をつくりたいと思っています。

Gallery comments

西浦の描く世界観には、物語の中から飛び出してきた生き物たちのような夢心地な不思議さがあります。

木彫では湿度変化に伴い亀裂ができないよう、中をくり抜く作業を行うことも多いですが、西浦の作品では敢えてその処理をせず、経年と共に歴史が刻まれ、一緒に生きていく楽しみを残せるような工夫が施されています。

空間に置くだけで木の香りが部屋中を包み、視覚的にも嗅覚的にも癒してくれる効果を持ちます。





8

西浦裕太/Yuta Nishiura

葉が隣の葉を静かに打ち鳴らし その所在を知らせた時にはもう 0624-2

2024

460 × 280 × 85 mm

181,500円(税込)

※in stock



服部 芽生

Mei Hattori

[Click ▶▶ instagram](#)

Profile

1995年生まれ

多摩美術大学芸術学科 卒業

Concept

よく知った道を散歩する。

コンクリートの隙間に咲く花、全ての葉が枯れ落ちた木の幹、片方のツノを失ったヤギ、もう使われなくなった自動販売機、壊れた蜘蛛の巣、電線に住むカラスの親子。

私と彼らの切なさの共通点は何だろう。

私は彼らを見ることしかできないけれど、カメラを使って光として捕らえることはできる。

様々な感情を持った光の収穫。

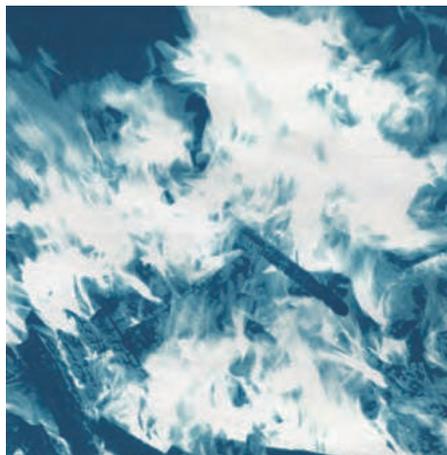
また今日もカメラという暗い部屋を持って、わたしは光を探す。

Gallery comments

サイアノタイプという日光や紫外線を使ってプリントされた作品は、写真でありながら絵画のようです。

彼女の目線を通して確認する、普段視線を流してしまうような景色、瞬間の中に垣間見える穏やかさと平和さ。それらを日常から切り取り、その大切さを私たちに忘れないようリマインドしてくれます。そんな幸せをいくつか複製させ、人にお裾分けできるのは、ユニーク作品にはできない、写真美術の優れた点。

サイアノはプリント毎に若干色の出方が変わるため、その点ユニーク作品とも言えます。





9
服部芽生/Mei Hattori
揺れる
2020
457 × 560 mm
44,000円(税込)



10
服部芽生/Mei Hattori
浸食
2020
457 × 560 mm
44,000円(税込)



11

服部芽生/Mei Hattori

〈Became Blue〉edition5

2023

300 × 300 mm(額装込み)

59,400円(税込)



12

服部芽生/Mei Hattori

〈Became Blue〉edition3,4

2023

300 × 300 mm(額装込み)

40,700円(税込)



13

服部芽生/Mei Hattori

〈Became Blue〉edition3,4

2023

300 × 300 mm(額装込み)

40,700円(税込)



14

服部芽生/Mei Hattori

〈Became Blue〉edition5

2023

300 × 300 mm(額装込み)

59,400円(税込)



15

服部芽生/Mei Hattori

〈Became Blue〉edition3,4

2023

300 × 300 mm(額装込み)

40,700円(税込)



16

服部芽生/Mei Hattori

〈Became Blue〉edition5

2023

300 × 300 mm(額装込み)

59,400円(税込)



17

服部芽生/Mei Hattori

〈Became Blue〉edition3,4

2023

300 × 300 mm(額装込み)

40,700円(税込)



18

服部芽生/Mei Hattori

〈Became Blue〉edition5

2023

300 × 300 mm(額装込み)

59,400円(税込)



19

服部芽生/Mei Hattori

〈Became Blue〉edition3,4

2023

300 × 300 mm(額装込み)

40,700円(税込)



20

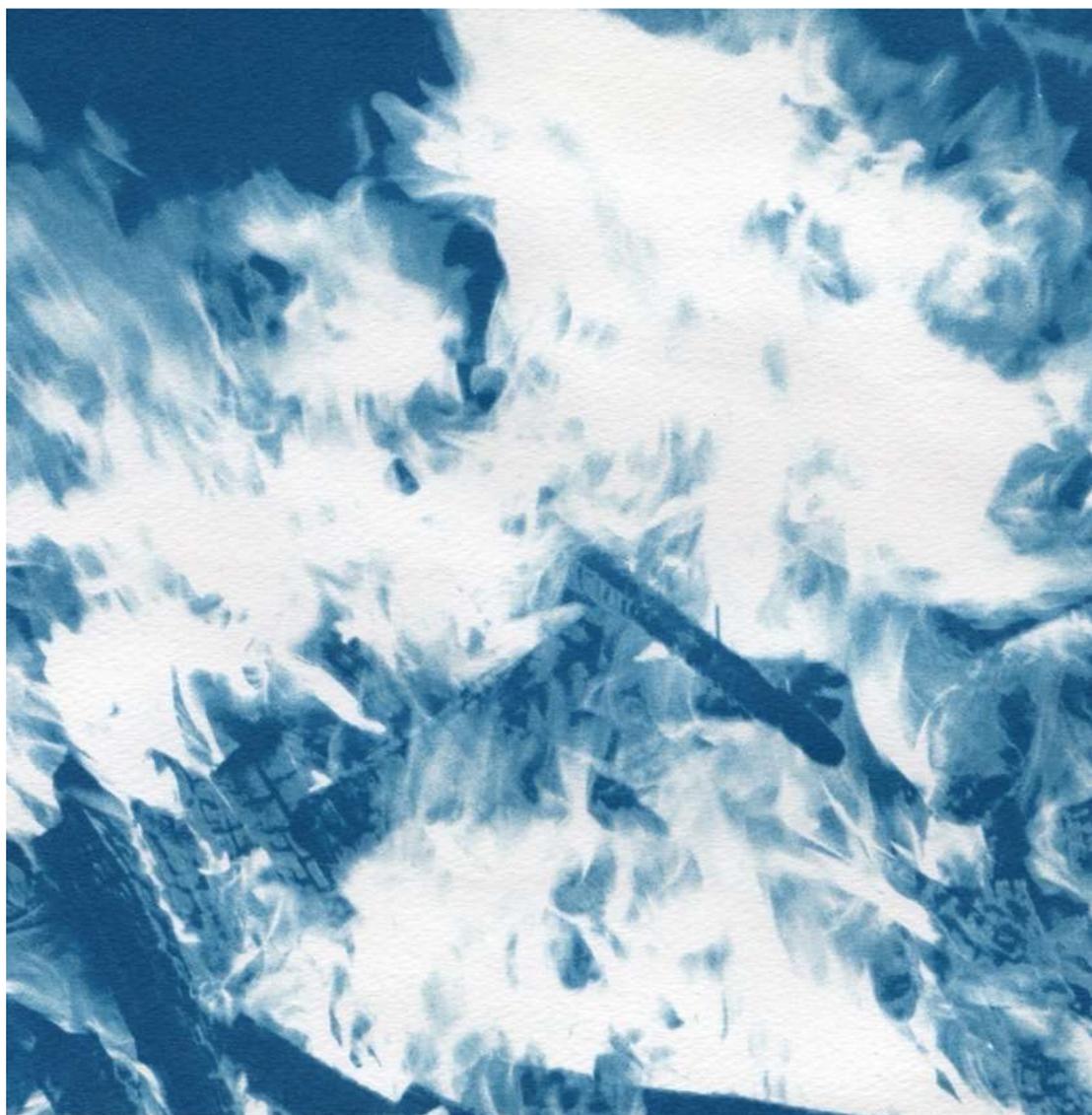
服部芽生/Mei Hattori

〈Became Blue〉edition5

2023

300 × 300 mm(額装込み)

59,400円(税込)



21

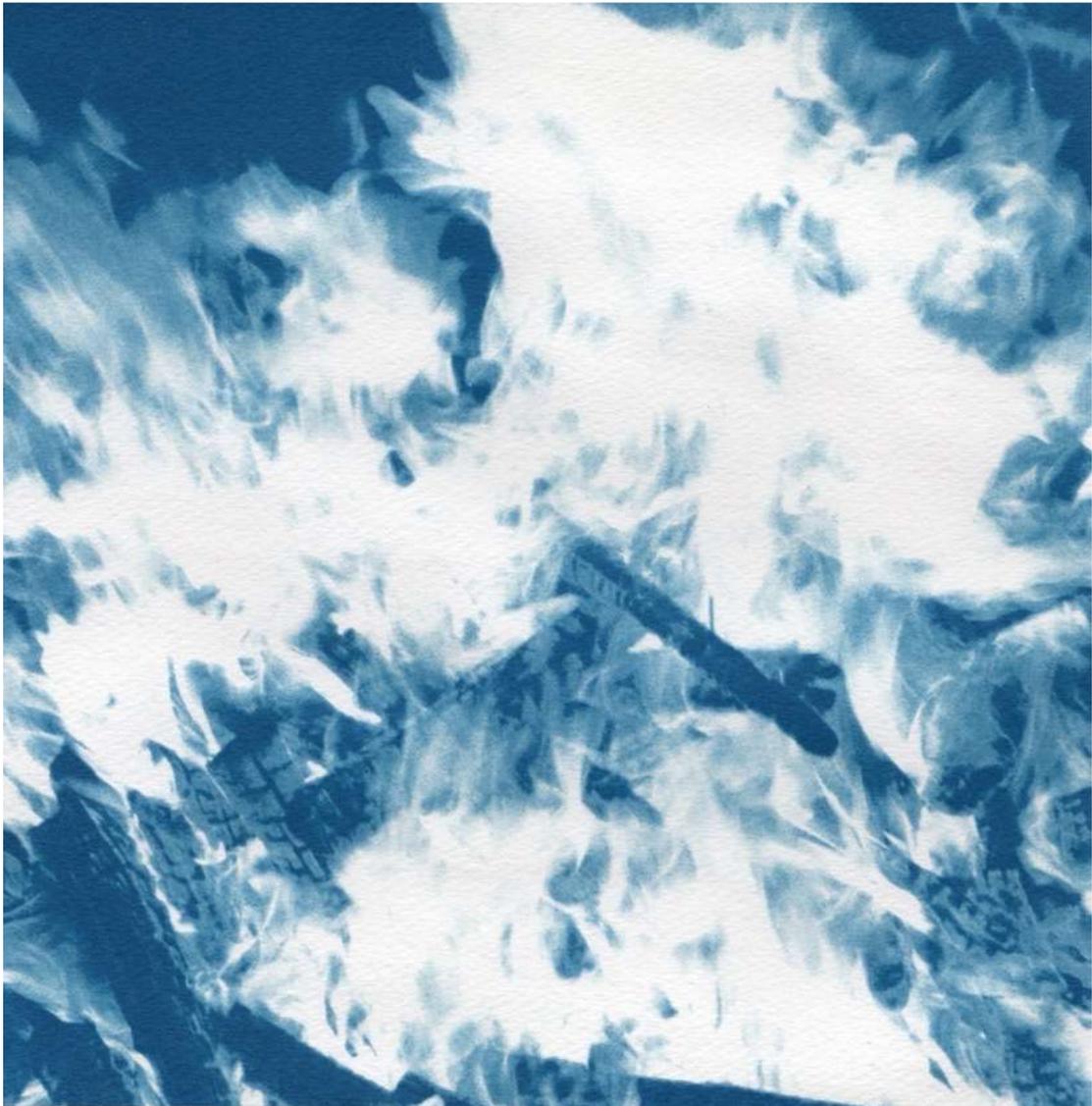
服部芽生/Mei Hattori

〈Became Blue〉edition3,4

2023

300 × 300 mm(額装込み)

40,700円(税込)



22

服部芽生/Mei Hattori

〈Became Blue〉edition5

2023

300 × 300 mm(額装込み)

59,400円(税込)



高久 秀美

Hidemi Takaku

[Click ▶▶ instagram](#)

Profile

2019 東京造形大学 絵画科 卒業

2021 東京造形大学 大学院 造形研究科 絵画専攻 修了

Concept

私の作品は、絶えず変化する思考や感情を捉えることをテーマとしています。この変化を表現するために、制作では「オートマティスム」(自動記述)という直感的な手法を用い、無意識の領域にアクセスしています。日常の中で、思考や感情は常に揺れ動き、時に曖昧で捉えがたいものです。しかし、これこそが人間の本質であり、生命の自然な「歪み」として私は捉えています。作品を通じて、この瞬間ごとの変化を観察し、表現することが私の目指すところです。

制作の過程では、感情や思考の移ろいを肯定も否定もせず、ただその存在を記録することが重要です。まるで空に浮かぶ雲が形を変え続けるように、私たちの内面もまた、絶え間なく新しい姿を取ります。その姿を忠実に見つめ、その儚さと美しさを、色や形によって作品に反映させています。

私たちは皆、感情の旅をしながら、この変化に満ちた世界を生きています。その旅の中で、時に輝く瞬間が訪れます。それは、私自身であり、鑑賞者であり、誰もが内に持つ「光」のような存在です。この光が揺らぎながらも輝きを放ち、変化の中で新たな発見をもたらす瞬間を、私は作品を通じて表現しています。

Gallery comments

天使のような羽を持つモチーフの存在は、様々な感情を抱えつつ観者に癒しを与えます。

大切な何かを守るために、高く舞い、時に果敢に立ち向かう強さが、画面上から伝わってきます。

1日の始まりに力を、終わりに癒しを与えてくれる。そんな作風が特徴です。





23

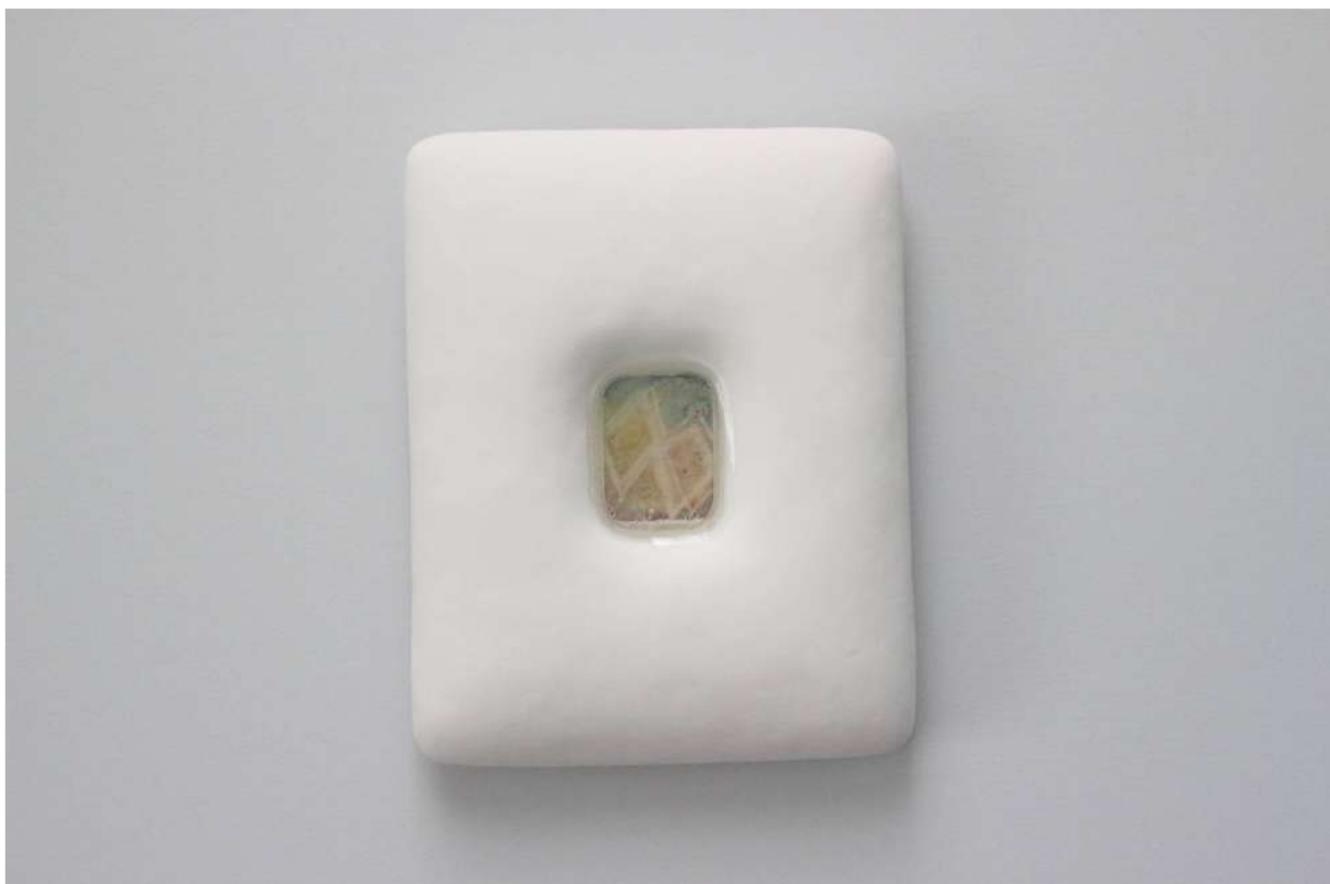
高久秀美/Hidemi Takaku

スネルの窓

2024

180 × 140 × 20 mm

39,600円(税込)



24

高久秀美/Hidemi Takaku

スネルの窓

2024

180 × 140 × 20 mm

39,600円(税込)



25

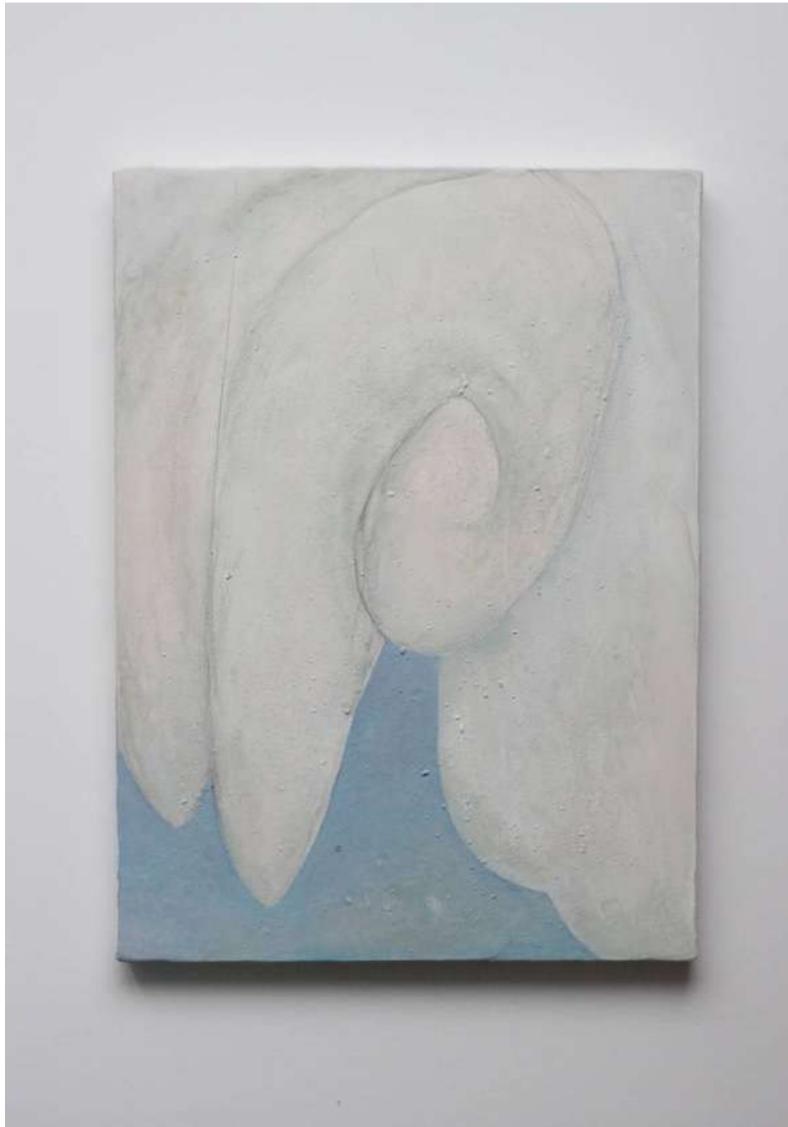
高久秀美/Hidemi Takaku

感情の獣「折れたマッチ」

2022

410 × 317 × 20 mm

55,000円(税込)



26

高久秀美/Hidemi Takaku

ねむり

2022

335 × 245 × 20 mm

44,000円(税込)



27

高久秀美/Hidemi Takaku

生きずくもの

2022

335 × 245 × 21 mm

44,000円(税込)



28

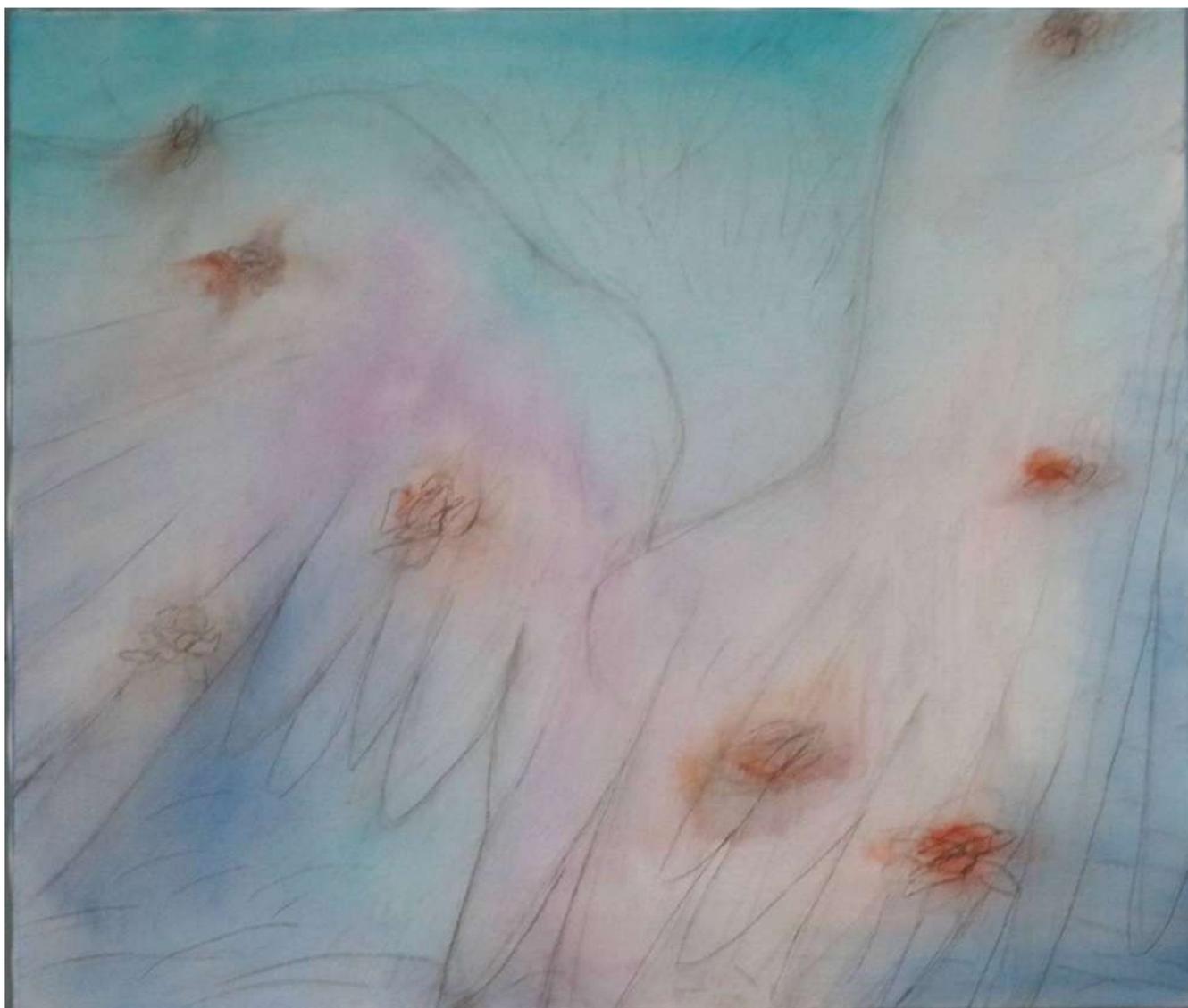
高久秀美/Hidemi Takaku

感情の獣「月の音」

2023

530 × 456 × 20 mm

67,000円(税込)



29

高久秀美/Hidemi Takaku

感情の獣「羽ばたく準備」

2024

530 × 456 × 20 mm

67,000円(税込)



30

高久秀美/Hidemi Takaku

感情の獣「冴えてる日」

2024

530 × 456 × 20 mm

67,000円(税込)



31

高久秀美/Hidemi Takaku

感情の獣「むかついた」

2024

530 × 456 × 20mm

67,000円(税込)



87

高久秀美/Hidemi Takaku

感情の獣「星が揺れるたびに」

2025

530 × 456 × 20mm

67,000円(税込)



88

高久秀美/Hidemi Takaku

感情の獣「銀河の片隅」

2025

530 × 456 × 20mm

67,000円(税込)



89

高久秀美/Hidemi Takaku

感情の獣「木立の先に輝くもの」

2025

530 × 456 × 20mm

67,000円(税込)



池上 創

So Ikegami

[Click ▶▶ instagram](#)

Profile

- 2000 神奈川県横浜市生まれ
- 2022 多摩美術大学美術学部工芸学科ガラスプログラム卒業
- 2024 富山ガラス造形研究所研究科卒業
- 2024 多摩美術大学工芸学科ガラス研究室副手

Concept

1200° の高温で溶けたガラスを整形していくホットワークの技法を主に用いる。
ガラスのもつ流動性や可塑性を活かし自身の身体の動きや、自然の生命力を表現する。特にホットワークの技法の1つである吹きガラスは、自身の内面や思考をエネルギーとして吹くという行為で、直接注ぎ込み形にできる技法だと考えている。
ジャンルにとらわれず、自身の作品を通してガラスのアートとしての価値を高められるよう活動している。

Gallery comments

池上の特徴は、ガラス作品であるにもかかわらず、ドローイングのような雰囲気を感じさせる点にあります。3次元に駆け回るストロークはひと線ずつ異なるエネルギーを持ち、作品が置かれた空間に、引き続き絵を描き続けていくような広がりを見せてくれます。
小作品からインスタレーションのような大作まで幅のある制作を行なっています。





32

池上創/So Ikegami

空間を描く-螺旋 I

Drawing Space-spiral I

2024

330 × 280 × 290 mm

385,000円(税込)

別途箱代 ¥5,000



33
池上創/So Ikegami
energy10
2021
H705 × W360 × D330 mm
385,000円(税込)



34

池上創/So Ikegami

とどめるもの-水渦の器

2024

H510 × W280 × D270 mm

462,000円(税込)

photo:Yuji Kimura/参考画像/同系統の作品制作納期まで一ヶ月ほど(時期により変動)/色やサイズ等も要相談



35

池上創/So Ikegami

とどめるもの-対立と共存の器

2024

H550 × W220 × D330 mm

550,000円(税込)

photo:Yuji Kimura/参考画像/同系統の作品制作納期まで一ヶ月ほど(時期により変動)/色やサイズ等も要相談



36

池上創/So Ikegami

とどめるもの-拮抗する器 I

2024

H520 × W250 × D350 mm

550,000円(税込)

photo:Yuji Kimura/参考画像/同系統の作品制作納期まで一ヶ月ほど(時期により変動)/色やサイズ等も要相談



37

池上創/So Ikegami

Sense of Unity I

2024

H2000 × W600 × D600 mm

770,000円(税込)



38

池上創/So Ikegami

Sense of Unity II、Sense of Unity III

2024

H1600 × W600 × D600(mm)、H1000 × W400 × D400(mm)

770,000円(税込)

税込660,000円、税込550,000円/インスタレーション作品、単体で販売可能



39

池上創/So Ikegami

CIRCULATIONS

2023

H4000 × W5000 × D5000(mm)

9,900,000円(税込)

屋外インスタレーション作品、夜はライトで作品が光ります



河本 蓮大朗

Rentaro Kawamoto

[Click ▶▶ instagram](#)

Profile

1991 神奈川県生まれ

2015 横浜美術大学工芸領域テキスタイルデザインコース 卒業

2017 横浜美術大学彫刻コース研究生 修了

Concept

織物の制作を中心に、染織独自の質感や色彩と、素材が持つ背景やストーリーを重要な要素とし、制作を続けている。

作品は裂き織りと呼ばれる技術で作られ、古布や古着などの既製品を織機を使って新たな布へ再構築する。工業製品や工芸の手仕事、日用品としての用途を超えて、表現方法として広がる織物の魅力に可能性を見出している。

Gallery comments

近年、自身で「セルフ・アップサイクル」と名付けた、自身の過去作を再利用して新作を発表。

家・空間が時と共に、また人によって変化しつつも引き継がれていくように、布の持つ歴史が引き継がれ新たな歴史の中に組み込まれていくことを新たな視点から追っています。ポップな色合いも素敵です。





40
河本蓮大朗/Rentaro Kawamoto
Strata #11
2023
660 × 480 × 60 mm
154,000円(税込)



41
河本蓮大朗/Rentaro Kawamoto
Strata #22
2023
390 × 170 × 80 mm
60,500円(税込)



42
河本蓮大朗/Rentaro Kawamoto
Strata #23
2023
210 × 210 × 70 mm
44,000円(税込)



43
河本蓮大朗/Rentaro Kawamoto
Strata #24
2023
320 × 280 × 80 mm
60,500円(税込)



44
河本蓮大朗/Rentaro Kawamoto
Strata #26
2023
500 × 240 × 80 mm
99,000円(税込)



45

河本蓮大朗/Rentaro Kawamoto

Strata #29

2023

700 × 580 × 80 mm

165,000円(税込)



46

河本蓮大朗/Rentaro Kawamoto

Strata #35

2024

290 × 290 × 50 mm

62,700円(税込)



47
河本蓮大朗/Rentaro Kawamoto
Strata #38
2024
290 × 230 × 50 mm
60,500円(税込)



48

河本蓮大朗/Rentaro Kawamoto

Strata #39

2024

290 × 290 × 50 mm

62,700円(税込)



49

河本蓮大朗/Rentaro Kawamoto

Strata #40

2024

290 × 290 × 50 mm

62,700円(税込)



藤田 野々

Nono Fujita

[Click ▶▶ instagram](#)

Profile

2000 広島県出身

2024 多摩美術大学美術学部彫刻学科 卒業

2024 東京藝術大学 美術研究科彫刻専攻修士課程 在籍

Concept

日々自身が感じている窮屈さから湧くイメージを元に自刻像を制作している。

布は複雑なシワによって身体の輪部を隠し、ぶ厚い生地で外部から精神を守るものであり、顔や身体のラインを隠すことにより、人目を避け他者からこうであると押しつけられることを拒否する。

Gallery comments

お茶目でコミカルな藤田作品には、つつい撫でてしまいたくくなるような可愛さがあります。

木の下地部分と塗りの部分のバランスも絶妙で、ナチュラルでお洒落な空間にぴったりのスパイスです。

大人から子供まで間違いなく気に入られる作品ばかりです。





50
藤田野々/Nono Fujita
つめてくれんか
2024
130 × 210 × 70 mm
53,000円(税込)



51
藤田野々/Nono Fujita
そっち
2022
400 × 200 × 150 mm
58,300円(税込)
in stock



勝木 杏吏

Anri Katsuki

[Click ▶▶ instagram](#)

Profile

2008 国立音楽大学付属高校卒業

2013 多摩美術大学美術学部彫刻学科卒業

2015 多摩美術大学大学院美術研究科博士前期課程彫刻専攻修了

Concept

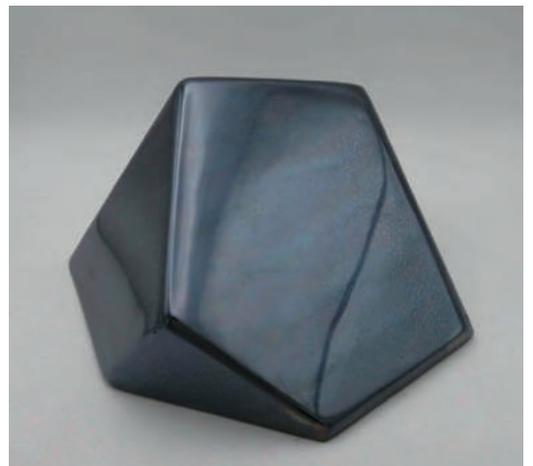
主に金属を用いて作品を作る。

美術教育の仕事に携わりながら、野外彫刻や壁掛け彫刻を手掛け、コンスタントに展示を重ね制作活動を続けている。近年は、金属の表面を磨いた後に炙って色を付ける独自の手法により、鉄を藍色に輝かせた「藍染シリーズ」を主に発表。

Gallery comments

鉄を使い様々な作品展開している勝木。鉄の特徴を使って光を集め、眺める角度によって、また時間帯によって表情を変えていきます。シンプルな色使いであるため空間に自然と馴染みますが、その存在感は大きく、部屋に入った瞬間にパッと目を惹く強さを持っています。

海染シリーズは形やサイズを組み合わせることで色々な楽しみ方ができ、楽しいシリーズです。





52

勝木杏吏/Anri Katsuki

海染(壁掛け)

2024

15φ~45φ, 12mm厚

5万~30万円(税別)



53

勝木杏吏/Anri Katsuki

BENT

2024

H1500 × D1000 × W1000 mm

80万(税別)



角田 笑香

Emika Tsunoda

[Click ▶▶ instagram](#)

Profile

2001 福島県生まれ

2024 武蔵野美術大学 油絵学科油絵専攻 卒業

2024 武蔵野美術大学 造形研究科修士課程美術専攻油絵コース 在籍

Concept

角田笑香の作品には人の顔や体の一部が登場し、その像は観る者の目を引きつける。

角田にとって人の像はひとつの造形要素、構成のピースでしかないが、人の像を用いた画面は作者の意図に反して物語性を発生させている。

それらがせめぎ合い融合することで、絵画は単なる 3 次元空間の再現から脱却し平面として自立した存在になるのだ。

Gallery comments

ダイナミックな色使いとストロークが特徴な作家です。

ポートレートを中心とした作品は、ヴィンテージのような雰囲気を持ち、どのような空間にも馴染みます。

小作品から大作まで同じように力強く、展示空間を引き締めます。





54

角田笑香/Emika Tsunoda

white skirt

2024

1303 × 1620 mm

660,000円(税込)



55
角田笑香/Emika Tsunoda
furfur
2024
727 × 910 mm
198,000円(税込)



56

角田笑香/Emika Tsunoda

human form, material

2023

1000 × 803 mm

264,000円(税込)

in stock



ミノリ

minori

[Click ▶▶ instagram](#)

Profile

1992 奈良生まれ

2016 大阪芸術大学 デザイン学科 VA コース 中退

2020 東京藝術大学 美術学部 絵画科 油画専攻 卒業

Concept

点はどこにでも存在する。

それらはときどき、近づいたり、重なったり、つながったり、遠くへ行ったりして、
子どもの遊びのようにあらゆる線を引いていく。

点から生まれたその線は、ある時、言葉になり、境になり、小さな物語を紡ぐこともある。

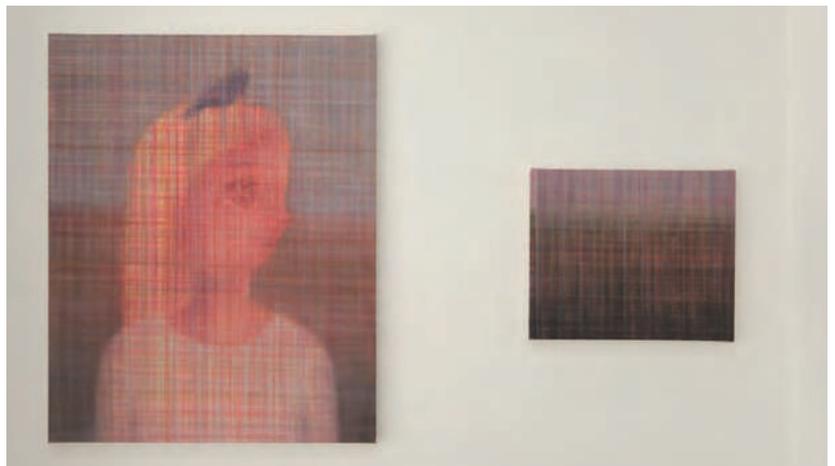
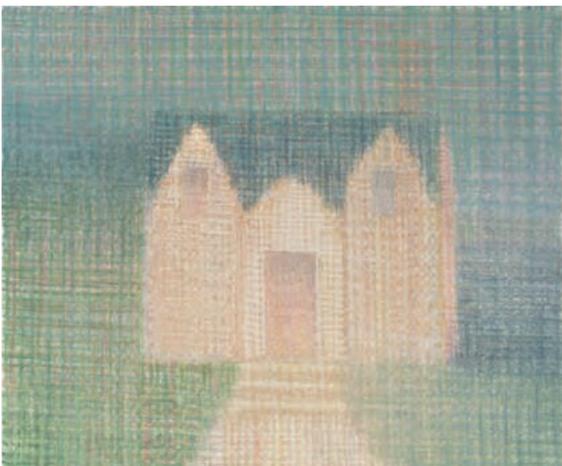
いつのまにか、何でもなかった場所がだれかの場所になっていたり
だれかの場所だったところが何でもない場所になっていたりするような、
日々止め処なくゆるる世界で、点と点を結んだり、解いたりしながら
何かが立ち現れるまで、私は注意深く対話する。

Gallery comments

観者を包み込むように優しい作品。

ミノリ作品は、春の日のうたた寝のように温かです。

あくまで控えめな色彩の濃淡の中に立ち現れるもモチーフの印象は力強く残り、後を引いて脳裏に残ります





57

ミノリ/minori

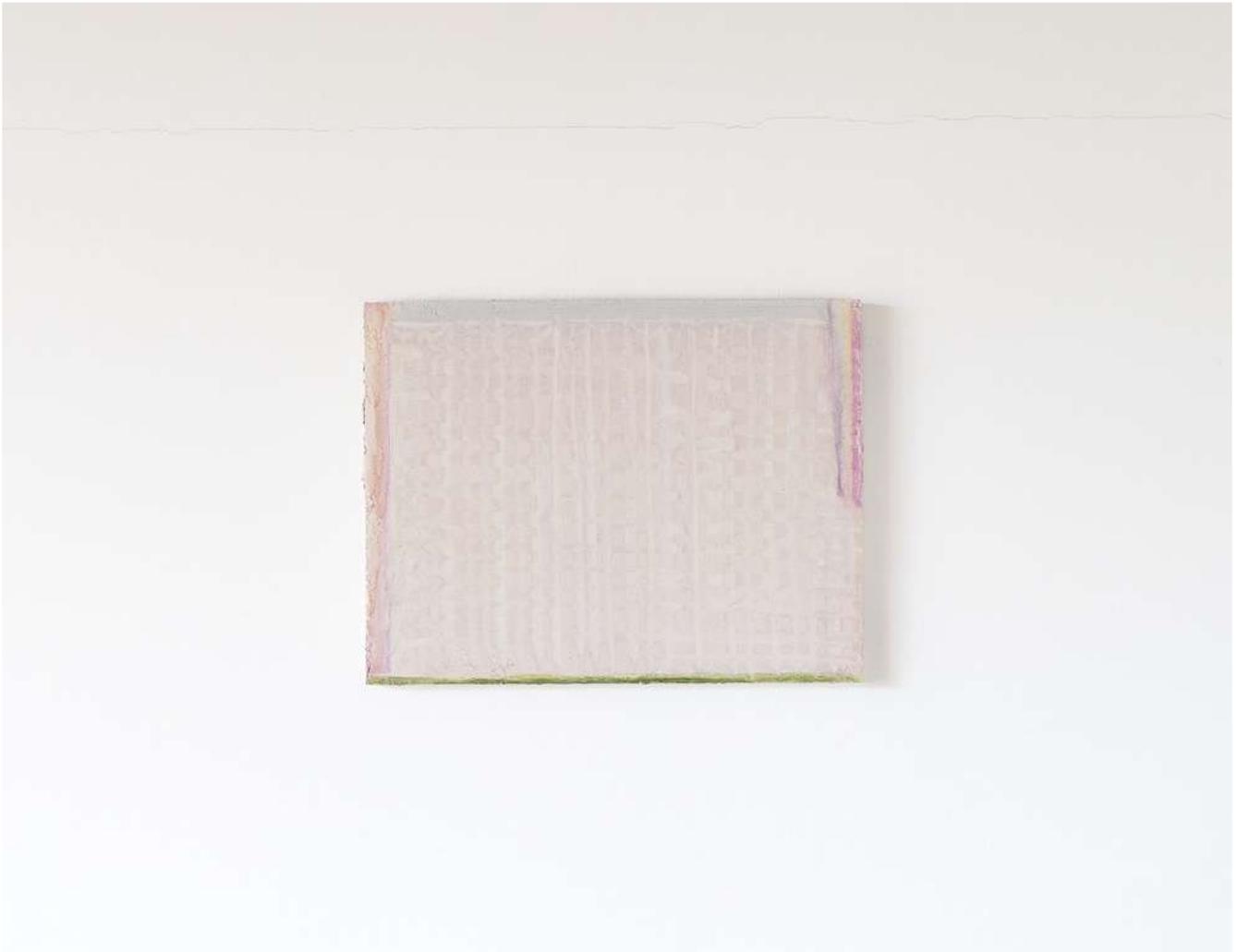
5 am

2022

330 × 240 × 30 mm

88,000円(税込)

支持体に漆喰を使用しているため、四辺が割れやすい



58

ミノリ/minori

untitled

2022

320 × 410 × 20 mm

99,000円(税込)

支持体に漆喰を使用しているため、四辺が割れやすい



59

ミノリ/minori

8.6

2022

485 × 550 × 30 mm

154,000円(税込)



60

ミノリ/minori

朝の十時

2023

455 × 530 × 20 mm

143,000円(税込)

支持体に漆喰を使用しているため、四辺が割れやすい



61

ミノリ/minori

untitled

2023

910 × 727 × 25 mm

253,000円(税込)



62
ミノリ/minori
海は言葉を持たない
2024
652 × 530 × 20 mm
165,000円(税込)



63

ミノリ/minori

untitled

2024

270 × 235 × 22 mm

77,000円(税込)



64
ミノリ/minori
祈りの船
2024
600 × 675 × 50 mm
187,000円(税込)



65

ミノリ/minori

untitled

2024

595 × 495 × 30 mm

176,000円(税込)



藤本 純輝

Atsuki Fujimoto

[Click ▶▶ instagram](#)

Profile

1997 三重県生まれ。

2021 京都芸術大学大学院 芸術研究科 修士課程 芸術専攻 美術工芸領域油画分野 修了

Concept

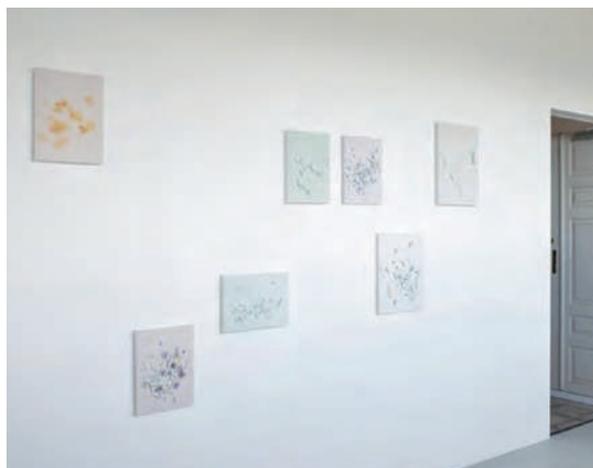
森のざわざわや抜けていく風、草花をやさしく包む淡い陽光や空気の感触・気配を描き、展示空間に景色を作り出そうとしている。

景色の持つ感触や気配、モチーフの持つ固有の性質や情景と、絵肌の質感や素材感とを互いに補完しあえるようにその都度選択・手入れを重ねる。

やわらかでキメの細やかな布を重ねたり、削り剥き出すことで浮かび上がる花や空気の様相は物理的な遠近を有した絵画空間を生み出し、花や花をとりまく光・空気のたしかな気配を創出する。

Gallery comments

キャンバス地をダイレクトにを使って描かれる草花は、柔らかく奥行きを持って展示された壁に咲き乱れます。差し込む日光に合わせて影を落とし様子を変える様は、室内にしながら本物の自然を体感させてくれます。いつでも心を和ませてくれる美しさは、藤本作品特有といえます。





66
藤本純輝/Atsuki Fujimoto
オリーブ_014
2024
1170×910 mm
275,000円(税込)



67

藤本純輝/Atsuki Fujimoto

ミモザ_03

2024

1170 × 910 mm

275,000円(税込)



68

藤本純輝/Atsuki Fujimoto

花瓶_038

2024

1170 × 910 mm

275,000円(税込)



69
藤本純輝/Atsuki Fujimoto
花瓶_041
2024
530 × 652 mm
165,000円(税込)



70

藤本純輝/Atsuki Fujimoto

花瓶_042

2024

455 × 333 mm

110,000円(税込)



71

藤本純輝/Atsuki Fujimoto

高原の花_03

2024

410 × 318 × 20 mm

99,000円(税込)



72

藤本純輝/Atsuki Fujimoto

窓際の花_05

2024

333 × 242 mm

88,000円(税込)



73

藤本純輝/Atsuki Fujimoto

パンジー_019

2023

242 × 333 mm

88,000円(税込)



74

藤本純輝/Atsuki Fujimoto

パンジー_020

2023

242 × 333 mm

88,000円(税込)



鈴木 秀尚

Hidetaka Suzuki

[Click ▶▶ instagram](#)

Profile

1986 北海道生まれ

2014 武蔵野美術大学大学院造形研究科修士課程美術専攻油絵コース修了

Concept

虚構と現実をテーマに絵画を制作を続ける。

普段私たちが経験する現実、そして想像し作り上げる虚構。

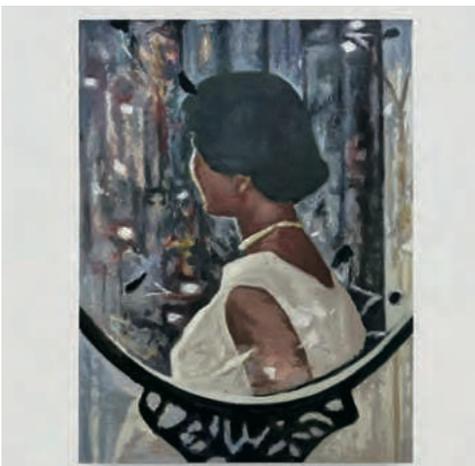
2世界を隔てているように見せる境界線をぼやけさせ、
観者に「真に見えているものとは何か」を問いかける。

Gallery comments

絵画でありながら、流れゆく時間の一瞬を刹那的に切り取った写真のようにみえる鈴木作品。

どこかメランコリックでもあり、時代を問わず楽しめる作品ばかりです。

最近では海外での展示を中心に、国内外で人気の作家です。じっくり見ていくとクスッと笑えるようなコミカルさもあるのも面白いです。





75

鈴木秀尚/Hidetaka Suzuki

Schoolyard

2023

727 × 910 mm

440,000円(税込)



76

鈴木秀尚/Hidetaka Suzuki

Forbidden

2023

910 × 727 mm

440,000円(税込)

HOLD



77

鈴木秀尚/Hidetaka Suzuki

Cemetery

2019

727 × 1167 mm

550,000円(税込)



78
鈴木秀尚/Hidetaka Suzuki
Civilization
2021
652 × 530 mm
275,000円(税込)



79
鈴木秀尚/Hidetaka Suzuki
Skin
2021
652 × 530 mm
275,000円(税込)



花月 啓祐

Keisuke Kagetsu

[Click ▶▶ instagram](#)

Profile

1998 鹿児島県出身

東京藝術大学 大学院美術研究科絵画専攻 油画技法・材料第二研究室

Concept

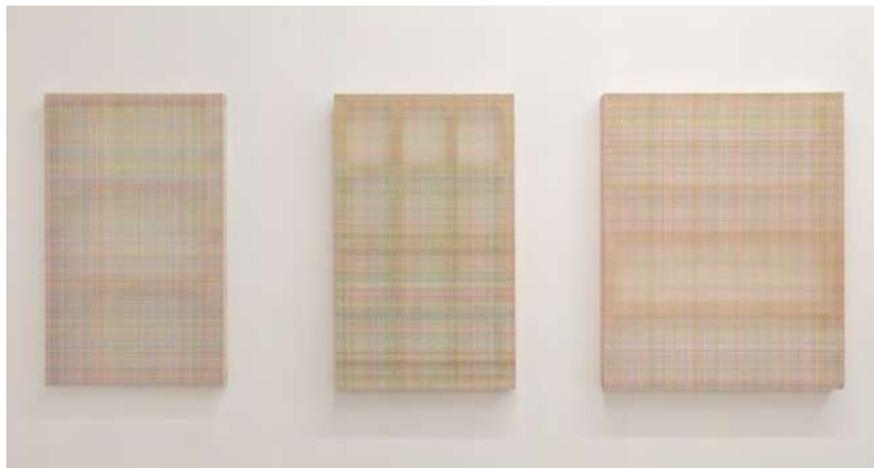
作者は、作品の持つ形式や構造に着目して絵画や立体など各分野での制作活動を行ってきた。

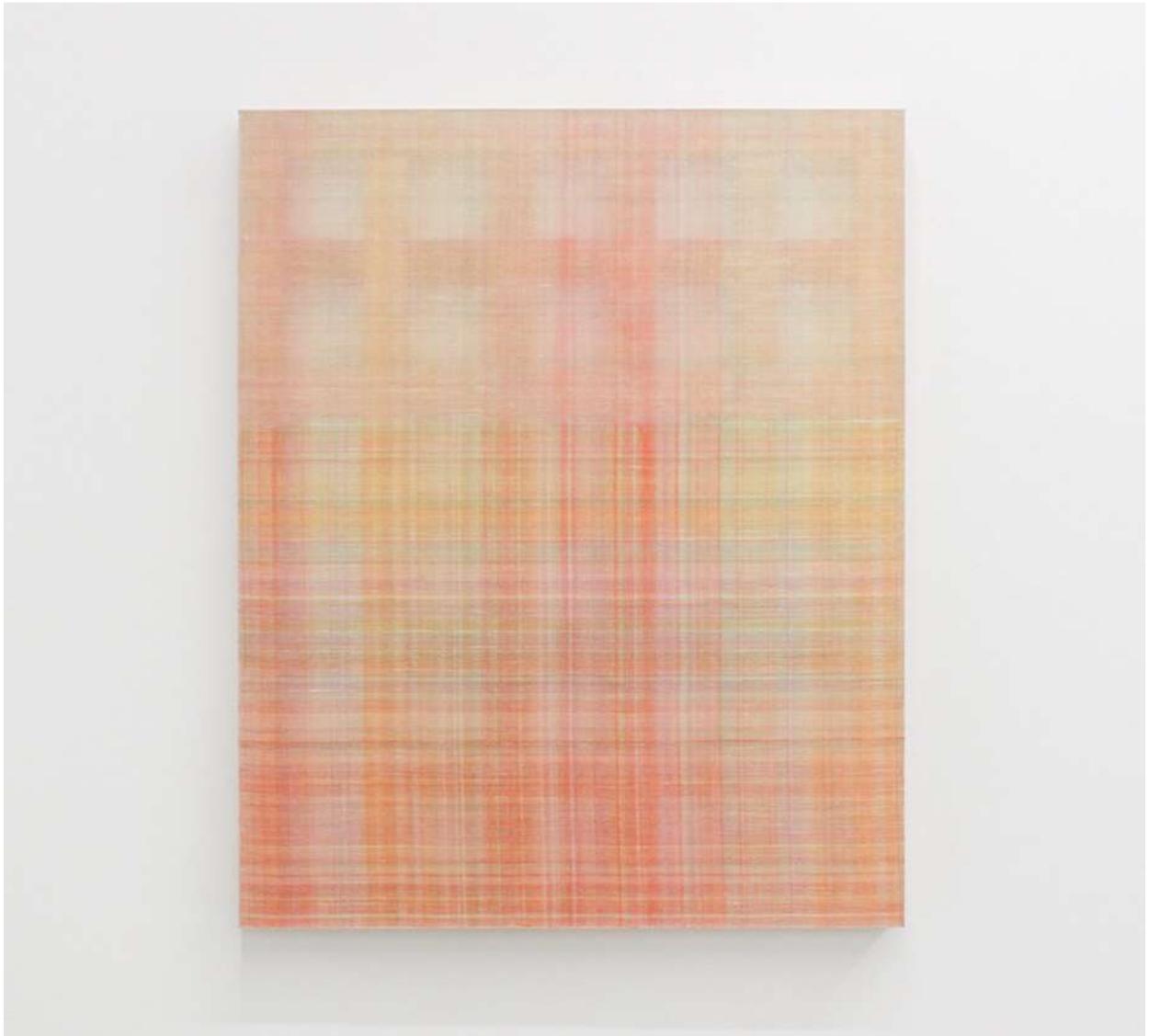
近年では、地形や構造、周囲の状況に作用して観察する対象の姿が変化するという自身の経験と発見を文脈として“環境”“自然”を美的に観測することを探究し、周囲の状況やその作品の構造をビジュアルとして取り込む作品を制作している。

Gallery comments

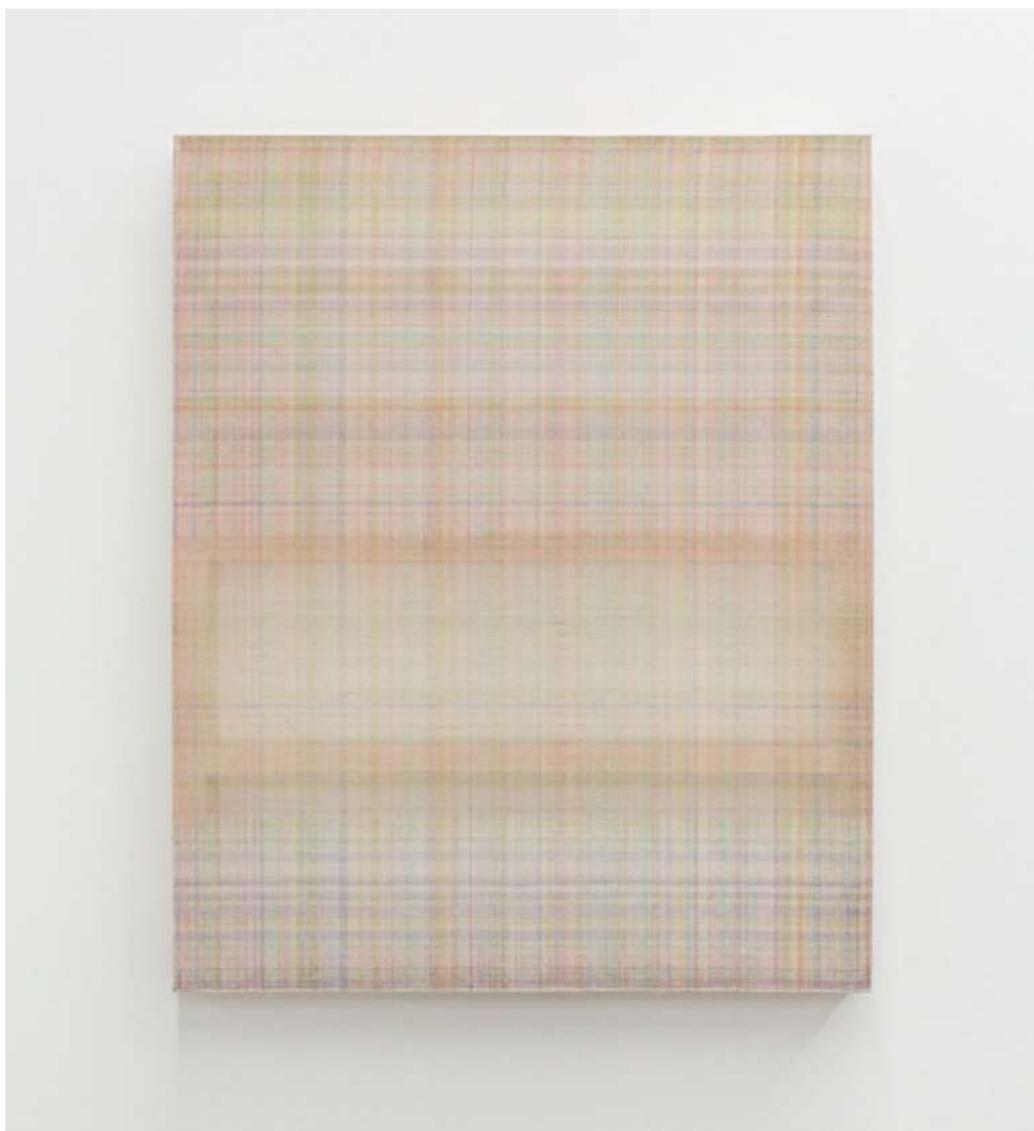
糸を使って線を引くというシンプルな構造アプローチにみえますが、自然を最大限に抽象化した姿が花月作品とも言えます。

じっくりと眺めるその奥に、雨、陽光、風、香りまでも感じられます。透過するため、飾る壁のテクスチャーさえも取り入れて、様々な楽しみ方ができます。

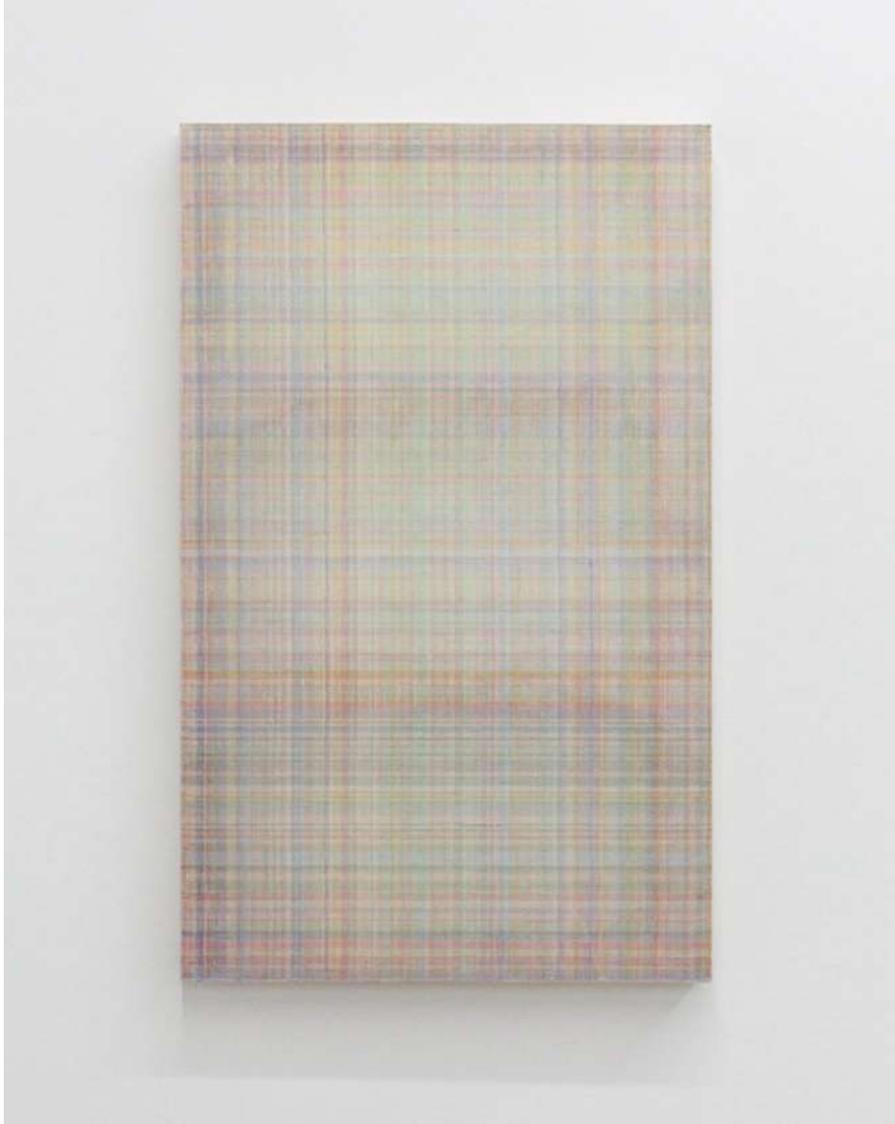




80
花月啓祐/Keisuke Kagetsu
一筆の隣
2024
530 × 430 × 40 mm
104,500円(税込)



81
花月啓祐/Keisuke Kagetsu
一筆の隣
2024
530 × 430 × 40 mm
104,500円(税込)



82
花月啓祐/Keisuke Kagetsu
一筆の隣
2024
530 × 327 × 30 mm
99,000円(税込)



タニグチカナコ

Kanako Taniguchi

[Click ▶▶ instagram](#)

Profile

1996 広島県出身

2018 京都精華大学芸術学部日本画コース卒業

2021 京都精華大学大学院芸術研究科博士前期課程修了

Concept

日本画の古典的な素材や技法を用いて、人間の感情や関係性の形を探っています。

Gallery comments

日本画でありながらポップで可愛い作風のタニグチ作品。モチーフに多く使われる手は、人と人の繋がり、平和、という広くて優しい心を思い出させてくれます。

構図が特徴的で余白使いも上手く、色もシックなため、あるだけでその空間を鎮めてくれます。





83

タニグチカナコ/Kanako Taniguchi

kirameki

2024

580 × 1020mm

410 × 410mm(作品部分)

253,000円(税込)



84

タニグチカナコ/Kanako Taniguchi

puru puru

2024

580 × 1020mm

410 × 410mm(作品部分)

253,000円(税込)



85
タニグチカナコ/Kanako Taniguchi
抱擁
2022
728 × 1030mm
302,500円(税込)



86

タニグチカナコ/Kanako Taniguchi

fixate

2024

727 × 606mm

253,000円(税込)



那須 佐和子

Sawako Nasu

[Click ▶▶ instagram](#)

Profile

11996 東京都生まれ

2021 東京藝術大学美術学部絵画科油画専攻 卒業

2023 東京藝術大学大学院美術研究科修士課程油画第一研究室 修了 / 同学 O 氏記念賞奨学金 認定

Concept

那須佐和子は絵画という言葉を用いながら距離、つながり、関係について語っています。「どのようにしたら昔の絵に触れるのか」と、那須は自らの制作について振り返るときに口にしますが、彼女の作品の根底には、本人が慕うところの古典あるいはモダニズム絵画やその時代と現代にいる自分自身の間に横たわっている、埋めようがない絶対的な距離に対するまなざしがあり、その感覚こそが那須の芸術に徹底したビジョンを与えています。古典絵画の時代と、そして現代人である自らが属する時代を対比させながら絵画の可能性に取り組む那須の姿勢は、彼女のパーソナルな関心の範疇を超え、常に更新され続ける美術の歴史の先端において何が可能かを模索する、今日的な意識があると言えるでしょう。

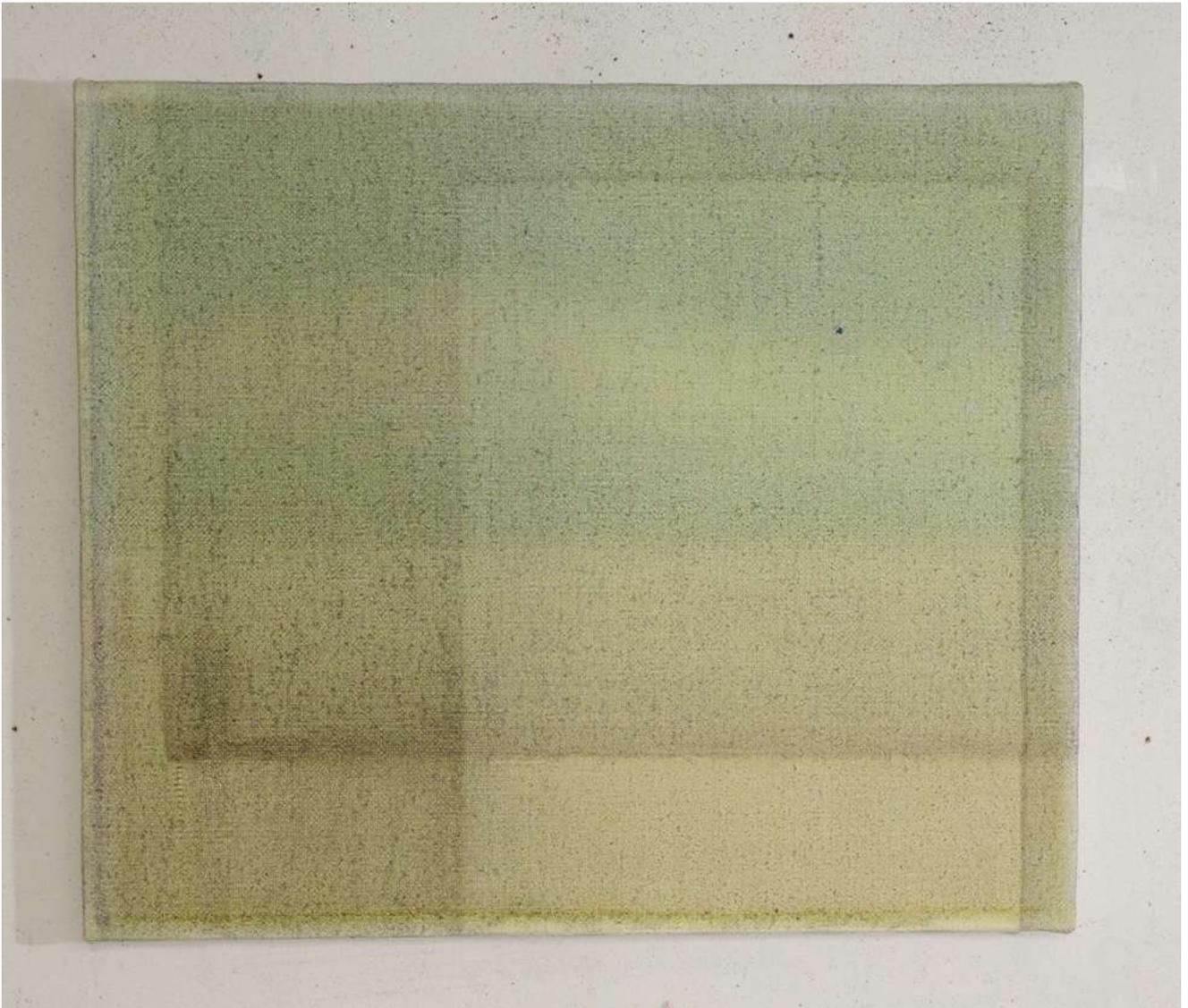
Gallery comments

最近ロンドンでの個展でも人気を集め、注目の若手作家の1人です。

懐かしい写真を眺めるかのように見入ってしまう彼女の肖像、風景画には、絶妙な距離感で心の中に入り込んできます。

複雑に重なるレイヤーは光と共に色を変化させ、時間帯によって異なる楽しみ方ができます。





90

那須佐和子/Sawako Nasu

Landscape

2024

455 × 530 × 30 mm

220,000円(税込)

in stock



91

那須佐和子/Sawako Nasu

Woman in the Spotlight

2024

650 × 500 × 30 mm

286,000円(税込)



92

那須佐和子/Sawako Nasu

Landscape

2024

318 × 410mm

165,000円(税込)



93

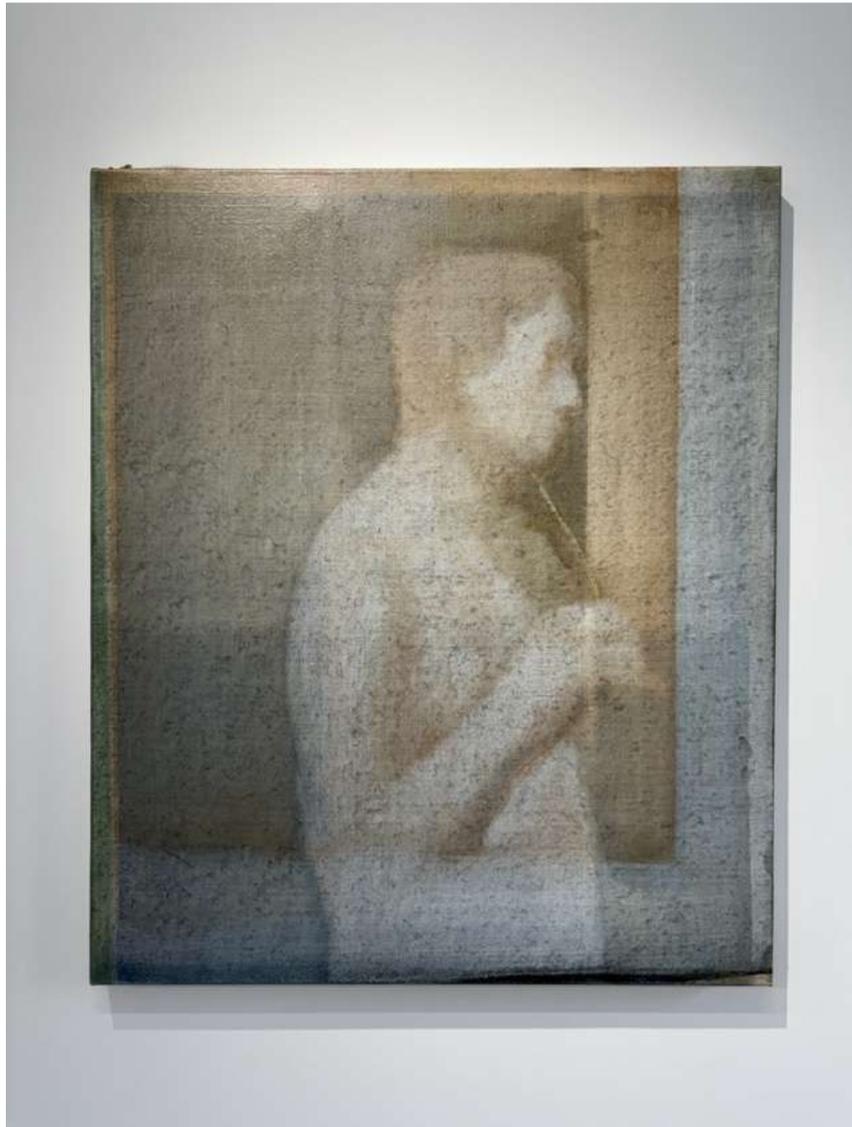
那須佐和子/Sawako Nasu

Flower

2024

727x606 mm

330,000円(税込)



94

那須佐和子/Sawako Nasu

Man Holding a Flower

2024

727 × 606 × 30 mm

330,000円(税込)



95

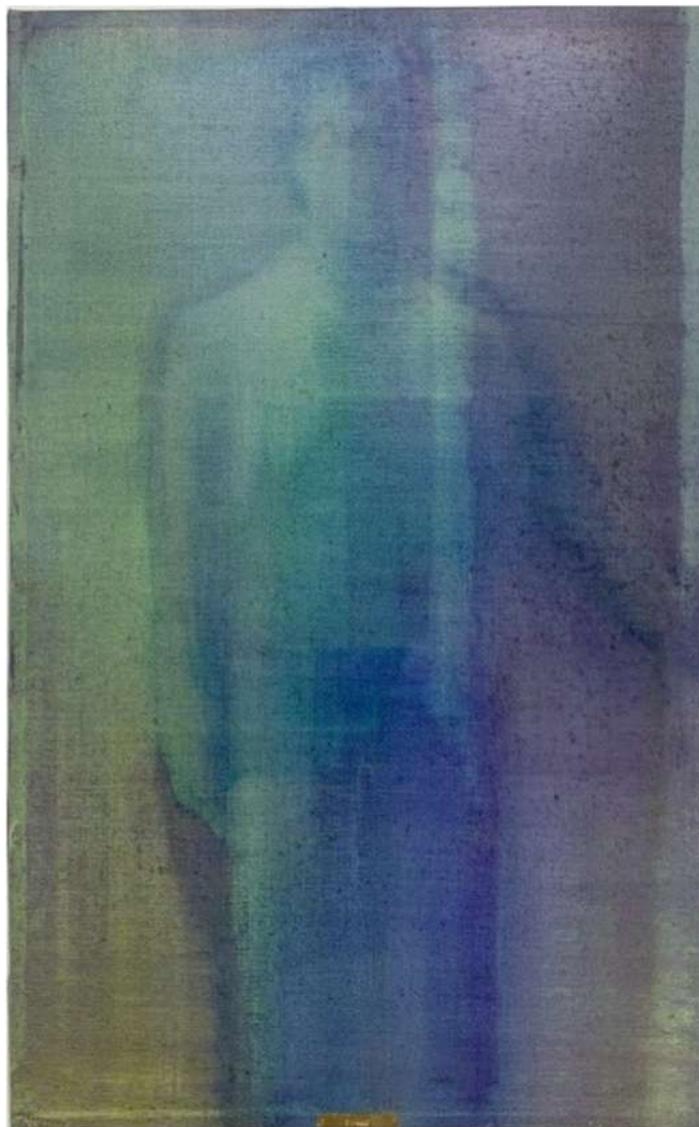
那須佐和子/Sawako Nasu

Pieces of Landscape

2023

image: 435 × 290 mm, frame: 560 × 444 × 21 mm

154,000円(税込)



96

那須佐和子/Sawako Nasu

Sunny

2023

1303 × 803 × 45 mm

539,000円(税込)



福原 優太

Yuta Fukuhara

[Click ▶▶ instagram](#)

Profile

1997 東京都生まれ

2020 武蔵野美術大学 造形学部油絵学科油絵専攻卒業

Concept

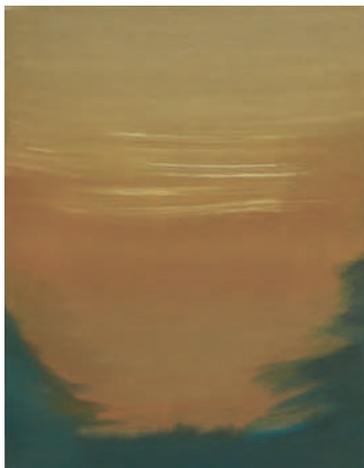
福原優太の描く絵のモチーフは人物・静物・風景などを幅広く含み、その種類も抽象画から具象画まで広範囲に及ぶ。福原は一人でいるとき、あるいは友人たちと過ごすありふれた日常生活のなかから作品の題材を発見し、それらを自らスマートフォンで撮影した画像を基にして、しかしそれらの画像を作家の感覚的フィルターを通して自由にアレンジしながら絵画を制作していく。福原は、自分の絵の鑑賞者と作者である自らの距離を縮め、彼自身がその絵を描いていたときにもっていた視点を追体験してもらいたいとつねに考えているという。それはすなわち、作品を通じて自分が普通の暮らしのなかで抱く、完全には言葉にならない感覚や認識を見知らぬ他者たちと共有するという非言語的コミュニケーションへの希求であり、福原にとって、絵画やドローイングはそのための有効な媒体となっている。とはいえ、福原は決して鑑賞者に自らの絵の「正しい」見方を強制せず、あくまでそれぞれの感受性を通して自由に受けとってもらうことを望んでいる。文脈や前提知識を過度に要請し、「難解さ」だけを競い合うような現代アートの作品が増えているなか、こうした福原優太の絵画実践は際立った新鮮さをたたえている。

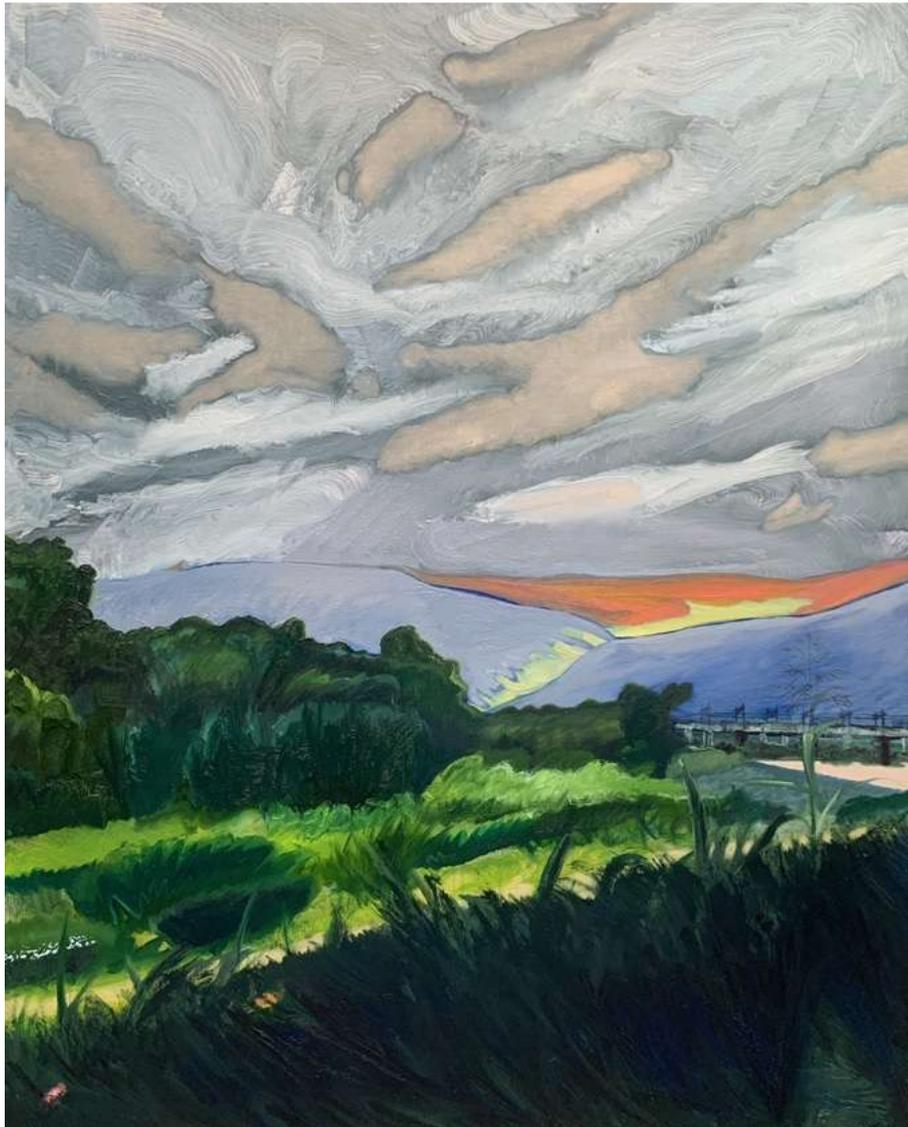
山本浩貴／美術評論家

Gallery comments

一見ミニマルな抽象作品かのようにみえる福原の風景画は、まっすぐな声で私たちに語りかけます。

迷いのない線の行方を追うと、そこには日本の四季があり、その日の気温までも含んで、私たちの肌をなでる空気があります。観者をピンとさせる、素直な作品に心が動きます。





97
福原優太/Yuta Fukuhara
untitled(Nikotama)
2021
1620 × 1303mm
550,000円(税込)



98
福原優太/Yuta Fukuhara
untitled
2022
1455 × 1120mm
440,000円(税込)



99
福原優太/Yuta Fukuhara
untitled
2022
1303 × 970mm
385,000円(税込)



100

福原優太/Yuta Fukuhara

untitled

2024

上段 : 803 × 1167 mm / 下段 : 600 × 200 mm

550,000円(税込)

送料は別途頂戴いたします。

納品時の箱代が別途発生する可能性があります。

作品の設置も別料金で受付可能です。

オーダー作品もご相談ください。



biscuit gallery

info@biscuitgallery.com

biscuit bldg, 1-28-8, Shoto, Shibuya-ku, Tokyo, 150-0046, Japan
Open > Thursday – Sunday / 13:00 – 19:00 [Closed > Mon, Tue, Wed]